



城ヶ島は、自然・地層観察の宝庫 共催

概要 : 城ヶ島西部を歩き、生き物の生態や植生、地層の様子などを観察する

小学校教員



実施内容

1. 実施校 市内小学校教員希望者
2. 目的 城ヶ島の自然を観察し、これからの海洋教育の実践に役立てる
3. 内容 城ヶ島西部を3時間かけて歩き、海の生物や海洋植物などの学習をする。
4. 日時 平成28年 7月27日(土) 9:00~12:00
5. 場所 城ヶ島西部
6. 参加者 小学校教員、教育委員会指導主事、研究所職員 計10名
7. 指導者 南下浦小学校 辻 功 教諭
8. 持ち物 カメラ、帽子

当日の様子

- 城ヶ島の大地は、クマゼミにとって好適地で、当日も多く鳴いていた。しかし、近年、適地が減ってきて、クマゼミも減少しているとのことだった。
- 馬の背洞門では、苔を食べて生息するハマカクシやハマダンゴムシを専用ループで観察した。
- 長津呂付近には、断層の割れ目に落ちた雨水でできた、淡水の水たまりが10以上あり、そこでハイイロゲンゴロウ、コマツムシ、コミズムシ等を観察した。
- 三郎山近辺では、断層やスランプ構造などが観察できた。